NIE実践報告

1．タイトル：「言葉探検レポート集」を作ろう

2．学校名

北九州市立　引野中学校

3．実践者名（代表者名）

日浅俊子

4．学年

第１学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　１２７名

6．単元（本時の学習課題）名

「調べたことを正確に伝えよう」　「言葉を探検する」

7．目標(狙い)

言葉についての研究課題を新聞などから見つけて、分かりやすくレポートにまとめて報告し合い、日本語についての見方や考え方を広げる。

8．評価の視点

日常生活や新聞の中から研究課題を決めて調査し、分かりやすくレポートにまとめて報告し合い、日本語についての見方や考え方を広げることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

〔光村図書〕「調べたことを正確に伝えよう」（５時間）　「言葉を探検する」（１時間）　合計６時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

① 日常生活や新聞記事の中から言葉について調べたい課題を見つける。（１時間）
② 課題にふさわしい項目や方法を考えて調査する。（２時間）
③ 調べた情報を整理し、「調査結果」に載せる内容を検討し合う。（１時間）
④ 調査結果をまとめ、レポートを仕上げる。（１時間）
⑤ できたレポートを読み合い、意見を交換する。（１時間）

〔留意点〕
○ 書くことが苦手な生徒への配慮として、手引きによる個別の支援やグループによる話し合いの時間の設定をする。
○ 一般的なレポートの形式を身につけさせるため、全員共通の形式で書かせる。
○ 各自２～４の小見出しを設けさせ、調査結果と自分のテーマを対比させることで、選材や構成の力を身に付けさせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

クラスに１冊の「言葉探検レポート集」を作成するという共通の目標を持たせることで学習意欲が高まった。また、各自の発見や調査結果を交流することで、言葉に対する関心が高まった。

12．成果と課題

〔成果〕
・子ども新聞や中学生新聞と一般の新聞を比較することで、記者の目的・相手意識を感じている生徒がいた。
・新聞を通じて、新しい「常用漢字表」など、最新の情報を得ることができ、言葉に関する意識が高まった。
〔課題〕
・インターネットを活用した生徒は、新聞の検索システムの使い方がよく分からないため、ウィキペディアなどの記事を利用する生徒が多く見られた。